

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回鴻巣行田北本環境資源組合新施設建設等検討委員会
開 催 日 時	平成30年10月1日（月） 開会：午後4時00分 閉会：午後5時30分
開 催 場 所	鴻巣市立教育支援センター東館 会議室
出席者(委員)氏名 ◎委員長 ○職務代理者	横山光市、小暮福三、田島和生、◎安登利幸、佐久間康弘、 ○田中一幸、阿部慎也、梁瀬里司、金子真理子、原 光本、 川島将史、荒井康博、原口春雄、黒沼昭征、松本芳雄、松本幾夫 (名簿順・敬称略)
欠席者(委員)氏名	
事務局出席者	鴻巣行田北本環境資源組合：瀬山事務局長 計画建設課：佐野課長 山崎主幹 小松主査 北條主査
組 合 構 成 市 出 席 者	鴻巣市：小林環境課長 行田市：小巻環境経済部長、前島環境課長 北本市：新井市民生活部長、加藤環境課長
会 議 内 容	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 （1）事業収支等について （2）事業方式について （3）その他 4 その他 5 閉会

<p>会 議 資 料</p>	<p>(資料名・概要等)</p> <p>資料：年間利用者数の推計について</p> <p>組合で整備する施設の内容及び事業収支について</p> <p>事業方式の検討について</p>	
<p>その他必要事項</p>	<p>1 傍聴人 12人</p>	
<p>会議録の確定</p>	<p>確 定 年 月 日</p>	<p>主 宰 者 署 名 押 印</p>
	<p>平成30年11月23日</p>	<p>安登利幸 ⑩</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 事務局長報告 ・ 委員長あいさつ
議長	<p>暫時、議長として議事の進行を務めさせていただく。議事進行にあたり、皆様のご協力をお願いしたい。</p> <p>本日の会議は公開で行うので、よろしく願います。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【傍聴人入室】傍聴人 1 2 名</p>
議長	<p>傍聴人の方に申し上げます。傍聴証の裏面に、傍聴人に関する遵守事項があるので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、3の議題に入る。</p>
	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">議題（1）事業収支等について</p>
議長	<p>議題の「事業収支等について」、事務局より説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">事務局説明</p>
議長	<p>この件について、何か意見や質問はあるか。</p>
委員 A	<p>ごみ処理施設に併設として、P.3のその他の機能に、災害発生時の機能が付加されているが、災害は何を想定して、災害発生時にこの施設をどのように活用するのか。例えば、水害であれば、施設自体に浸水対策が必要になるが、どの程度の浸水に耐えられるように考えているのか。災害時に電力供給しようとする場合には、ごみ処理施設が稼働していれば電力供給可能と考えられるが、大地震発生時には、ごみ処理施設も一旦停止して、安全確認してから再稼働することになるので、一番電気がほしいのは震災直後と考える。その間の電力供給は、それなりの対策をとらなければならないが、災害発生時の対応をどの程度考えているか。</p>
事務局 A	<p>災害対応については、災害発生時の避難所として活用するのではなく、温浴施設として、入浴できない避難者への入浴サービスの提供などを想定している。</p>

- 事務局 B 地震や水害等のさまざまな災害を想定している。水害対策や電力供給については、次のステップで詳細を検討する。
- 委員 B 岩盤浴を追加が考えられる施設に入れており、建設費は約 11 億円と示されているが、前回と比べ、建設費の増減にどれくらい反映されているか。佐久市の見晴らしの湯について、行政負担は建設費のみとのことだが、大型修繕は設置者が責任を負うのか、聞いているか。
- 事務局 B 岩盤浴については追加が考えられる施設に入れたので、建設費には含まれていない。
- 通常簡易な修繕については民間事業者が負担し、大規模修繕が発生した場合は、公施設なので、組合が負担するものと考えている。
- 委員 B 建設費 11 億円は変わっていないのか。みはらしの湯の熱は、ごみ処理施設から提供されているのか。見晴らしの湯のごみ処理施設と余熱利用施設の建設・運営事業者は同一事業者か。
- 事務局 A 見晴らしの湯は温浴施設であり、余熱利用施設ではなく、ボイラーで沸かしている。ごみ処理施設とは別施設であり、温浴施設の事例として示した。建設費は概算額とし、事業収支の規模感を示した。この額を上限として確定するものではない。
- 委員 C 熱回収施設と温浴施設は切り離して考えるのか。余熱を利用してお湯をわかすのではなかったか。温浴施設にボイラーを取り付けて、本体施設と切り離して考えるという説明に聞こえた。
- 事務局 B 熱回収施設と余熱利用施設の工事発注は別とし、それぞれの事業として考えている。ボイラー設置については、熱回収施設の修理・点検時には熱が送られてこないで、その期間の温浴施設の営業については、事業者の提案を受けることも考えられる。
- 委員 C 余熱利用施設ならば、本体の修理の際には、温浴施設の営業は止めるべきではないか。ボイラーを使ってまで営業する必要はないのではないか。
- 事務局 B 民間事業者に運営を任せる場合、採算がとれる施設運営ということで、民間事業者がどうするか考えることになる。

委員 C	余熱利用施設の本来の目的を逸脱しないでもらいたい。
委員 D	資料 1 P. 1 表 2 で延床面積が記載されているが、これは建物面積か。
事務局 A	建物のみである。
委員 D	検討している温浴施設が既存施設と比較して大きいものだが、既存施設の運営圧迫にならないか危惧している。
事務局 A	余熱利用施設として、そのことにも気をつけて運営していきたいと考えている。
委員 D	既存の民間施設の経営に影響が出ないように配慮が必要ではないか。表 3 について、既存施設があるのにこれだけ利用者があるのか。積算根拠を教えてください。
事務局 A	文献に基づき、潜在的な利用者人口を推計した。
委員 D	市内の温浴利用者数から試算したものではないのか。
事務局 B	利用者見込み数から試算した。年間利用者数 17 万人を見込むというよりは、潜在利用者数 17 万人が利用する施設規模や事業収支を検討した。
委員 D	民業圧迫にならないか危惧している。できる限り民間事業者に影響がないよう、コンパクトなものであってほしい。
議題（2）事業方式について	
議長	議題の「事業方式について」、事務局より説明をお願いします。
事務局 A	事務局説明
委員 E	P. 4（2）事業コストの縮減について、民間事業者に一方向的に任せるとはなくて、民間事業者に対して十分に目を配るべきではないか。
事務局 B	施設の設計・建設・運営までを一体で民間事業者と契約するが、民間からの提案をそのまま受けるのではなく、組合としての考え方を仕様として示した上で、組合の方針に合致した内容を提案してもらう。民間事業者に丸投げということではない。
委員 E	温浴施設を作ることに反対する人もいるが、鴻巣市内には温浴施設

がない。温浴施設ができることに市民も期待しているので、それを配慮してもらいたい。

議長

民間の提案を求める際、要求水準書を組合で作るが、いいものを作るために、どこまでの内容を盛り込むかについては、発注者側の腕のみせどころとなる。

委員 E

作ってほしいという意見がかなりあり、私も温浴施設ができることを 10 年以上待っていた。施設を作ることに反対する人がいるそうだが、反対する意味がわからない。

委員 F

事業方式の方向性では、基本方針にある民間経営手法を踏まえた経済性に優れた施設を作って運営していくという観点や、民間活力の導入によるメリットも期待でき、DBO 方式が適していると考ええる。具体的には、資金調達の際は、起債による低コストでの資金調達が可能で、施設の建設・運営について民間事業者へ委託することは、民間のノウハウや事業力が十分に活用できると考える。

民間事業者選定にあたってのアドバイザリー業務については、発注者が細かく入札説明書や仕様書、契約書を作成することは、事業を具体的にすすめていく上では非常に重要な観点であり、そのためには、専門的な知識や経験、ノウハウが必要。仕様書の作成等に必要な支援を受けながら事業を推進していくことは重要と考える。

事務局 A

民間手法の活用は説明のとおり提案した。アドバイザリー業務については、法律への対応やリスク分担等で、重要性を認識している。

委員 G

P. 11 表 6 の公設公営は、従来の方法か。また、公設民営は、PFI 方式や DBO 方式なのか。DBO 方式である場合、VFM は出ているのか。

事務局 B

公設公営については、従来どおりの施設。公設民営は DBO 方式。表 7 では、民設民営で PFI 方式を導入した施設がある。

委員 G

VFM はすぐには出てこないか。10 年くらいのスパンで考えるものか。

事務局 A

表 6 の施設 1、施設 3 は、指定管理料を払って運営している。組合としては、指定管理料がなるべくかからないよう、運営経費を抑える方法での建設・運営を検討している。

委員 G アドバイザリー業務については、DBO 方式だけでなく PFI 方式や公設公営方式でも必要なのか。

事務局 A 公設公営方式は、設計、建設、運営をそれぞれ契約するので、アドバイザリー業務は必要ない。DBO 方式、PFI 方式では、リスク分担や一体的に民間事業者と契約する必要があるので、アドバイザリー業務は必要となる。

委員 G 余熱利用施設でのボイラー設置は、本体のフェイルセーフとしてのものか。

事務局 A P.9 に余熱利用施設はごみ処理施設から熱を供給されるとあるが、熱回収施設が止まった時の予備的にボイラーが必要ではないかとして、検討課題にあげた。

委員 G それなら理解できる。

議長 特定事業の選定の際に、VFM について公開していることが多い。一方、収支がプラスの場合には VFM という次元ではなくなる。

委員 H DBO 方式は適当と考える。P.10 (3) 市場調査の必要性について、市場調査は確実にやってもらいたい。資料 1、2 の利用者数は目安ということであれば、そのように理解する。県内の類似施設では、ほとんどが指定管理料を払って運営している。市場調査を行い、どの程度の指定管理料を支払えばよいか、どれほどの施設規模が適当か、決めてもらいたい。佐久市の事例はレアケースと考えてもらいたい。今回検討している施設は、地域の市民の福祉向上ということで作る施設なので、佐久市の施設のような事業環境と一緒に考えないでもらいたい。

事務局 B 市場調査を行い、仕様書等を作成する。運営費が安くなるような施設整備を考えている。必ず黒字運営になるという認識ではない。

委員 A 事業方式を決めるにあたり、VFM を用いることは、理解しやすくなる。P.7 の表 4 の VFM の根拠を示していただきたい。

事務局 A VFM の根拠は日本 PFI・PPP 協会の紀要に載っている既往事例の平均値から算出した。

- 委員 A 各方式を比較したうえで、DBO 方式を選定したことは、適切と考える。P8 事業方式の方向性（まとめ）に、余熱利用施設ではなくごみ処理施設についての内容が出てくるので、見直してもらいたい。
- 委員 I 地元としては、温浴施設やプールの設置をお願いしてきて、温浴施設ということでまとまってきた。水田が広がる地域に建設するので、いかに多くの人を集客するかということで意見を提案した。事業方式は DBO 方式が適切と考える。施設規模は予算 11 億円、延床面積 2000 m²だが、コストを抑えることにこだわりすぎて利用者が少ない施設を作られても困るので、集客できる施設を造ってもらいたい。
- 議長 委員から様々な意見が出されたが、事業方式は、DBO 方式がよいとの賛同を得られたと考える。
- 委員 B 参考事例として余熱利用施設でない温浴施設が示されたが、組合で建設するのは余熱利用施設でいいのか。施設の意義は地域福祉の向上がメインか。余熱利用施設は、本体とは別に業者を募集するのか。運営は指定管理という言葉が出ているが、DBO 方式であれば民営はどのようなものになるか。
- 事務局 A 今回の施設は余熱利用施設を整備する。地域福祉の向上として地域住民だけが使う施設ではなく、構成市民が利用する施設として考えている。本体施設と別発注する施設として検討している。指定管理料については、DBO 方式でも運営事業者と指定管理契約を締結し、その中で取り扱いを示す。
- 委員 B 余熱利用施設は、ごみ処理施設と同一敷地内に建設するので、1/2 の補助が出ると聞いているが、それでよいか。
- 事務局 B 余熱利用施設は、国の補助金の対象外となる。国の交付金を受ける要件として、エネルギー回収率を達成するためには、余熱利用施設への熱供給もあると説明している。
- 委員 B 理解した。
- 議長 協議ありがとうございます。DBO 方式ですとすすめるということで、承認いただいたとする。

事務局 A

その他について、今後のスケジュールを示す。次回は答申案の検討
でよいか。

議長

議題 3 について、了解いただいたとする。その他、事務局から何か
あるか。

議長

以上で、本日の議事はすべて終了した。

議事進行について、ご協力いただき、感謝する。それでは会議の進
行を司会に戻す。

その他

事務局 B

次に「4 その他」について、事務局から、事務連絡がある。

次回の検討委員会の日程は、10 月末から 11 月を予定している。交通
量調査結果資料について、前回の検討委員会で資料提供依頼があり配
布させていただいた。

閉会

事務局 B

以上をもって、第 4 回鴻巣行田北本環境資源組合新施設建設等検討
委員会を閉会とする。